

雨が降る前に知っておきたいこと

～平成18年7月豪雨から20年 諏訪地域の土砂災害とこれからの備え～

平成18年7月豪雨災害 岡谷市小田井沢川

日時 2026年 5月24日(日)
(令和8年)

受付 12時45分から

開会 13時30分(16時30分閉会予定)

会場 メイン会場

岡谷市文化会館 (長野県岡谷市幸町8番1号)

カノラホール〔小ホール〕

サテライト会場もございます。

詳細は裏面をご覧ください。

▶防災グッズ販売、パネル展示も行っています。

入場
無料

事前申し込み必要

◆基調講演

講師 笹本 正治

(信州大学名誉教授 長野県立歴史館参与)

講師 牧野 裕至

(博士(環境学) 元国土交通省砂防部長)

◆パネルディスカッション

詳細は裏面をご覧ください。

事前に下記からお電話でお申し込みください。

岡谷市 TEL.0266-23-4811(内線1311)

諏訪市 TEL.0266-52-4141(内線258)

茅野市 TEL.0266-72-2101(内線182)

下諏訪町 TEL.0266-27-1111(内線262)

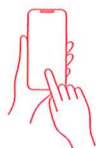
富士見町 TEL.0266-62-9326(直通)

原村 TEL.0266-75-5710(直通)

諏訪広域連合 TEL.0266-52-4141(内線376)

※諏訪圏域以外にお住まいの方は、諏訪広域連合または岡谷市へお申し込みください。

スマートフォン
からのお申込み
はこちら



スマホのカメラ
をかざして申込
フォームにお入
りください。

長野県諏訪地域では明治31年の「横押しの大水」、昭和58年の豪雨災害、平成18年7月豪雨災害等、多くの災害が発生しています。

本シンポジウムは、平成18年7月豪雨災害から20年を迎える節目に、当時の経験と教訓に加えて本地域に伝わる災害の記録をあらためて振り返るとともに、次世代へどのように伝えていくべきかを考えるものです。諏訪6市町村それぞれの記録を共有し、将来に向けた持続的な安全・安心の備えを地域全体で考える場とします。



平成18年7月豪雨災害の土石流で全壊した船魂神社の社殿は復旧され、枝垂れ桜も見事な花を咲かせている。

主催/諏訪広域連合・岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・長野県

お問い合わせ/岡谷市土木課 TEL.0266-23-4811(内線1311) または 諏訪広域連合 TEL.0266-52-4141(内線376)

基調講演

演題

諏訪地域の災害伝承

講演者

笹本 正治

信州大学名誉教授
長野県立歴史館参与



演題

諏訪地方の豪雨と土砂災害

～平成18年7月・昭和58年9月豪雨災害から～

講演者

牧野 裕至

博士(環境学)
元国土交通省砂防部長



パネルディスカッション

テーマ

「諏訪湖周辺の過去の土砂災害・水害の紹介 災害伝承や地域での防災の取組について」

登壇者

パネリスト

- 笹本 正治 (信州大学名誉教授 長野県立歴史館参与)
- 内山 琴絵 (信州大学教育学部助教)
- 横内 由和 (間下区区長兼間下区自主防災会会長)
- 唐沢 宏 (長野日報社伊那支局記者(元諏訪湖総局記者))

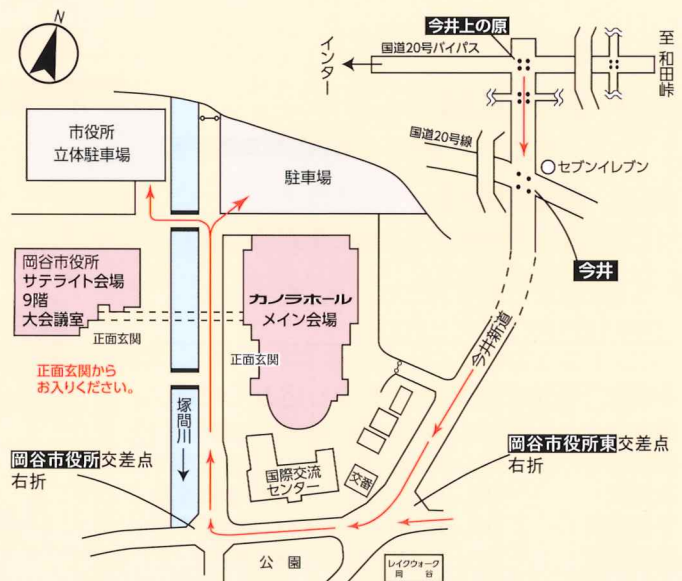
コーディネーター

- 森田 耕司 (長野県建設部参事兼砂防課長)



サテライト会場を岡谷市役所の
9階大会議室に設けます。
メイン会場の様子をリアルタイム
中継いたします。

- ※入場には事前のお申し込みが必要です(お申し込み先は表面にございます)。
- ※車でご来館の際は、周辺店舗への駐車はご遠慮ください。
- ※駐車場はホール奥の専用駐車場または岡谷市役所立体駐車場をご利用いただけますが、満車の場合、近隣の駐車場をご案内する場合があります。



共催/国土交通省天竜川上流河川事務所、
信州大学教育学部防災教育研究センター
後援/長野県治水砂防協会、長野県治水砂防協会諏訪支部、(公社)砂防学会信越支部、
(公社)地すべり学会中部支部、長野県砂防ボランティア協会、
信州大学地域防災減災センター、エルシーブイ株式会社、株式会社長野日報社

ご来場の皆さんに長野県の公式PRキャラクター「アルクマ」の砂防堰堤デザインピンバッジをプレゼント!



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ